

一般質問



宮本 議員

○松浦水産基地の輸出戦略の取り組みについて

質 水産庁の「水産物輸出拡大施設整備事業」を活用して、我が国初の「高度衛生化閉鎖型施設」が完成し、松浦水産基地からの輸出促進の方針が求められております。松浦水産基地独自の輸出戦略を検討して産業経済委員会に報告してください。

水産課長 市としても松浦水産物の輸出拡大の必要性を強く認識しています。しかしながら、輸出を進めていく上で、ハード面やソフト面などにおいて、さまざまな課題があり、その課題を解決するためには生産、流通、加工、販売など関係者全員の協力が必要不可欠であり、このような課題などを議論する場の必要性を感じています。一方で、今年4月に国の水産物輸出拡大施設整備事業を活用して整備した松浦魚市場は、輸出を見据えた高度衛生管理型の施設であり、海外への輸出拡大を図っていく必要があります。このようなことから、市としては今後、県や関係団体と構成する長崎県水産物海外普及協議会と連携した輸出促進の取り組みを強力に進めるとともに、輸出拡大に関する意見交換や各社の輸出

状況などの情報共有の場の役割を担う調川港地域水産物輸出拡大協議会を核にして地元の関係者を新たに加えるなど、松浦水産基地における水産物の輸出に向け、積極的に取り組んでいきます。

○元寇遺跡の世界遺産の登録に向けての取り組みについて

質 「元寇遺跡」の「世界遺産」の登録に向けて、市役所内に「元寇遺跡の世界遺産登録準備室」の設置とか「世界遺産登録準備担当」とか任命して準備を進めていく必要があると思いますが、市長の考えをお聞かせください。

市長 現在、限られた職員で取り組みを行っている中では、目の前にある大きな課題、まず、いかりを引き揚げる、元寇船を引き揚げる、そして、その展示公開をできるような環境を整える、こういったことに、人も予算も重点的に投入していくことが必要だと考えています。

このほかに、「松浦市歴史観光推進協議会と市との連携について」「松浦市の文化財保護と観光政策について」「沈没船の発掘体験フィールドスクールの開講計画の提案について」「水中考古学体験講座について」質問しています。

一般質問



神田 議員

○鷹島小学校跡地活用と移住支援策について

質 鷹島の住民を対象に跡地活用のアンケートを取られたが、その内容についてお尋ねしたい。

政策企画課長 昨年10月1日から30日までの期間で調査を実施しました。活用の方角性については、「働く場所としての活用」を望む声が最も多く、次いで「憩い・交流できる場所としての活用」「にぎわいを生み出す場所としての活用」「住み、暮らせる場所としての活用」の順でした。また、製造業や情報通信関連企業などの誘致、大学の研究施設の誘致と学生寮の整備、幅広い世代が気兼ねなく触れ合える場所としての活用、市営住宅の整備、移住希望者誘致施設および住居としての活用、農産物や水産物などの通販、鷹島ブランドの発信拠点施設の整備などの意見をいただきました。

質 松浦市のゼロ歳児から5歳児の資料によると年々減少傾向にあるが、この状況を市長はどのように感じ取られているのかお尋ねしたい。

市長 産業振興やコミュニティの維持など、本市の将来を担う人口の減少でもあり、大変深刻な状況であ

ると問題意識を持っています。

質 鷹島は地区別人口の5歳児までの割合が2・4%しかない。跡地に若者向けの賃貸住宅建設か、若者に限定した住宅建設用の分譲地の低価格の販売などの提案について、市長の見解をお伺いしたい。

市長 住宅建設用地の分譲地としての活用を含め、対象となる若い世代の方々などのニーズを調査しながら、地域の活性化につながる活用策を検討していきたいと考えています。

○伊万里湾赤潮対策ガイドラインについて

質 伊万里湾奥部での赤潮初期発生の要因について、その後の調査で原因の解明ができたのかお尋ねしたい。

水産課長 赤潮を誘発する原因の特定には至っていません。

質 佐賀県関係機関との赤潮に対する連携はどのように取られているのかお尋ねしたい。

水産課長 調査体制および連絡体制において佐賀県と連携しています。

質 赤潮被害防除については、行政の早急な支援と協力が必要不可欠だと考えるが、市長の見解をお伺いしたい。

市長 調査結果を速やかに養殖業者の皆さまへ提供することや赤潮防除剤の散布、へい死魚の処理など、着実に実施できるよう迅速な対応を行っていると考えています。